

|      |            |     |                     |
|------|------------|-----|---------------------|
| 科目   | 小児看護学方法論 3 | 試験日 | 令和 7 年 12 月 1 日 (月) |
| 学籍番号 |            | 氏名  |                     |

1) 文を読み ( ) に適した語句を解答欄に記入してください。

16

- 気管支喘息は ( ① ) 性の気道炎症を特徴とする疾患である
- 気管支喘息の症状は、夜間～早朝に発作性の呼吸困難、( ② )、咳嗽が反復してみられる
- 気管支喘息は ( ③ ) 性換気障害である
- 気管支喘息の原因は、個体因子と環境因子が複合的に関与し、( ④ ) 型のアレルギー反応である
- 喘息の大発作では、喘鳴と ( ⑤ ) 呼吸が著明、チアノーゼがみられる
- 喘息発作時の基本体位は ( ⑥ ) 位またはファーラー位である
- 気管支喘息は、( ⑦ ) 期までに治癒することが多い
- てんかんは ( ⑧ ) 皮質ニューロンの過剰興奮によっておこる
- 脳性麻痺の原因となる障害時期で最も多いのは、( ⑨ ) 期である
- 脳性麻痺の運動障害の主症状として、運動麻痺と ( ⑩ ) 異常がある

解答欄

-10

|   |               |   |              |   |    |   |    |
|---|---------------|---|--------------|---|----|---|----|
| ① | <del>進行</del> | ② | <del>喉</del> | ③ | 閉塞 | ④ | I  |
| ⑤ | 呼吸            | ⑥ | 座            | ⑦ | 小児 | ⑧ | 大脳 |
| ⑨ | 出生前           | ⑩ | 感覚           |   |    |   |    |

10

2) 文を読み正しいものには○、間違っているものには×を解答欄に記入して下さい。

- ① てんかんの分類は、発作型とてんかん病型の2つである
- ② 気管支喘息の大発作を判断する spo2 値は 91%以下である
- ③ 障害のある子どもへの支援は、実年齢のみに合わせて関与することが大切
- ④ 急性期の子どものフィジカルでは、子どもが泣きそうな場合でも構わず実施することが大切
- ⑤ てんかん発作の誘因の一つに睡眠は関係ない
- ⑥ 痙直型の麻痺の特徴は伸展反射が亢進で痙性である
- ⑦ 気管支喘息の吸入治療では気管支拡張薬やステロイド剤を使用する

-1

|   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | × | ② | × | ③ | × | ④ | × |
| ⑤ | × | ⑥ | ○ | ⑦ | ○ |   |   |

6